

本学講師・田中雄之脚本プロデュース作品 映画「エキストラランド」宮崎公開について

情報解禁：2017年10月10日（火）18:00

このたび、本学の地域資源創成学部の田中講師プロデュースによる映画「エキストラランド」が12月2日（土）よりセントラルシネマ宮崎で2週間限定公開されることとなりました。

過去の失敗から映画を製作することができなくなったプロデューサーが地方の市民を騙して映画を作ろうと画策するというあらすじの本作。監督は『らくごえいが』『神奈川芸術大学映像学科研究室』で注目を集め、『東京ウィンドオーケストラ』で商業デビューを飾った新鋭・坂下雄一郎。地方創生が謳われる時代への痛烈なメッセージ、映画作り・モノ作りのうえで大切なことをシニカルに描いた完全オリジナル脚本による意欲作となっております。

主人公のプロデューサー役に吉沢悠、プロデューサーに追従する映画監督役に戸次重幸、彼らと対峙する地元の観光課職員役として前野朋哉が出演。既報の三名に加え、プロデューサーのために奔走する市民映画スタッフとして金田哲（はんにゃ）が出演。さらに、後藤ユウミ、嶺豪一、中村無何有、宇賀那健一らバラエティ豊かな俳優陣が脇を彩ります。

予告編では、吉沢悠演じる悪徳プロデューサー・駒田が、映画の舞台であるえのき市の街中を”渋谷”に見立てて撮影させるという難題を戸次重幸演じる映画監督・石井に押し付け、石井が「やっぱり無理だ!」と思わず叫び出してしまう一幕も。さらに、ポスタービジュアルにはく映画はみんなを笑顔にしてくれる、そう思っていますか?>という挑発的なコピーが掲載。プロデューサー・駒田に翻弄されるえのき市民たちの姿が散りばめられたビジュアルに仕上がっております。



田中雄之（脚本・プロデューサー担当）コメント

四年越しの企画である『エキストラランド』が、宮崎で公開されること嬉しく思います。本作は地方での映画撮影の話ですが、映画の内輪話ではなく、いわゆる地方創生の課題（問題点）をテーマに制作しました。地方創生という言葉が気軽に使われる現在ですが、本当に地方のためになっているのか？なぜ、地方は東京から映画を誘致するのか、それは本当に意味があるのか、もう一度、呼ぶ側も行く側も考える必要があるのではないかと思います。そんな気づきとメッセージを込めてこのエキストラランドを制作しました。ぜひ、地方の方にこそ見ていただきたいと思っています。ちなみに、この映画のために、フィルムコミッションを取材して、研究し続けていたことが、宮崎大学地域資源創成学部の講師にもなったきっかけです。

是非とも情報掲載のほど、よろしく願い申し上げます。

映画『エキストラランド』作品情報（予告編 <https://vimeo.com/kotopro/extrand>）

出演：吉沢悠 戸次重幸 前野朋哉 金田哲（はんにゃ）

後藤ユウミ 嶺豪一 中村無何有 宇賀那健一 鷲尾英彰 長野こうへい 仁科貴 棚橋ナツ 古川一博 芹澤興人

監督：坂下雄一郎 プロデューサー：田中雄之 脚本：坂下雄一郎 / 田中雄之 撮影：松井宏樹 照明：上田謙太郎 録音：黄永昌

美術：岡田匡未 助監督：加治屋彰人 スタイリスト：小笠原吉恵 メイク：橋本申二 / 中麻衣子 編集：山崎梓 音楽：吉田大致

企画・製作・配給：株式会社コトプロダクション 91分/カラー/2017/シネマスコープ ©Koto Production Inc.

あらすじ：過去の重大失敗から映画を撮れなくなったプロデューサー・駒田は、映画で地元を盛り上げたいと思っている市民達を騙して、自分のためだけに映画を作ろうと画策する。最初は指示されるがままだった市民達も、その横暴な立ち振る舞いに疑問を感じ始める。撮影最終日、自分たちが利用されているだけだったと気付いた市民達は一矢報

公式 Twitter：https://twitter.com/extrand_movie/ 公式 Facebook：<https://www.facebook.com/extrand/>

公式サイト <http://extrand.jp>

12月2日（土）よりセントラルシネマ宮崎にて2週間限定上映予定！